

サマースクール 2026

園長・施設長・主任講座のご案内

主催：NPO法人幼年教育・子育て支援推進機構
共催：株式会社メイト 協賛：明治図書出版株式会社

大阪大会

2026年8月19日(水) 定員70名

お申込み締切日：8月7日(金)

会費：24,000円(税込み)

●レジュメ・昼食含む

会場：ホテルニューオータニ大阪

大阪府大阪市中央区城見1-4-1

TEL：06-6941-1111

<https://www.newotani.co.jp/osaka/>

参加特典 参加ご本人様限り、サマースクール大阪大会1日目(8月18日)に無料でご参加いただけます。



- JR大阪環状線「大阪城公園」駅より徒歩約3分。
- Osaka Metro 長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅より徒歩約3分。
- 各線「京橋」駅より徒歩約8分。

9:30 受付

10:00

Class 1 超少子化における保育施設の新たな役割とは？ ～多様な子ども・家庭を支え、地域と繋がる保育の実践～(仮題)

こども家庭庁
成育局 担当官(※)

超少子化の進行により、保育施設には「預かり」機能に加え、地域の子育て支援拠点としての役割が求められます。本講座では、多様な家庭への支援や地域との連携を通じ、保育が果たすべき新たな社会的機能と実践の方向性を示します。

11:40 昼食

12:40

Class 2 安全配慮につとめ、子どもの体験活動を支える保育の組織的取り組み

遠藤 登
保育安全のかたち 代表
危機管理アドバイザー

日常的なヒヤリハット対策をはじめとした事故防止など、「安心・安全な保育」を継続するためには、マネジメント層のリスク管理が欠かせません。職員の安全対策を支え、子どものワクワク・ドキドキする体験をもたらす保育に向けた組織的な取り組み方についてお話します。

14:20 休憩

14:40

Class 3 次代に向けた地域に選ばれる園づくりと保育マネジメント

井桁 容子
保育 SoW ラボ 代表
乳幼児教育実践研究家

AI時代を迎える中で園の価値や役割は変化し、地域や保護者から選ばれる視点が一層重要になります。子どもの育ちの本質を大切にしながら、地域との関係づくりや保護者支援をどう展開するか。これからの園経営に求められる視点と具体的なマネジメントの在り方を考えます。

16:20

(※)人事異動等の諸事情により、講師(及びテーマ)変更の可能性があります。